

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年2月19日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		国の定めた基準以上の広さを確保し、部屋をパーテーションで区別するなど工夫して適切なスペースを確保しています。	法令を遵守したスペースを用意しておりますが、利用時間が重なる時には手狭感が否めないこともあり、今後一層工夫して参ります。
	2	○		国の基準を満たし、基準以上の人員と児発管、保育士、児童指導員等の有資格者を配置しています。	急な欠勤があった場合でも問題なく対応できるように、シフトの管理、職員増員や適切な配置に努めて参ります。
	3	○		事業所はわかりやすく構造化された空間になっています。現状、車椅子利用の児童の受け入れはありませんが、トイレの一部等に段差があるので、児童が使用する際には必要に応じて付き添いを行っています。	事業所は、安全に配慮したわかりやすい構造化された環境となるよう配慮しており、今後必要に応じて完全なバリアフリー化など必要な改修について検討して参ります。
	4	○		毎日アルコール消毒や掃除を行い、換気に注意し、気持ちの良い空間を提供できるように努めています。	安全な動線の確保と共有スペースの活用を配慮し、常に清潔で心地よく過ごせるよう取り組んでいきます。
業務改善	5	○		業務改善を図るためリフレクション会議を毎月開催しています。	リフレクション会議等で目標を明確にした話し合いを行い、全職員に周知し、業務改善を行って参ります。
	6	○		自己評価を定期的に行い、改善の必要な部分については職員で共有し、保護者様のニーズを把握できるように努めています。	評価内容は全体へ周知し、話し合いを通して業務改善に努め、今後とも改善に努めていきます。
	7	○		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も結果は公式 Web サイトで公開し、事業所の自己評価・保護者様からの評価結果を踏まえ、サービスの質の向上に役立てて参ります。
適切な支援の提供	8	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後課題として検討して参ります。
	9	○		定期的に社内研修を行っています。例年は地域の研修にも参加し、職員間で共有しておりますが、今年度はコロナ禍のため、参加機会はありませんでした。	今後も、定期的に研修の機会を設け、資質・能力の向上に努めて参ります。
	10	○		定期的にアセスメントを行い、個別支援会議ではその内容を基に支援内容を話し合い、計画を作成しています。	今後もアセスメントは適切に行い、送迎時にもご意見を伺い、話し合いを元に計画に活かして参ります。
	11	○		標準化されたアセスメントシートを使用し、状況の把握に努めています。	今後も継続してアセスメントツールを活用し、児童の状況把握に努めて参ります。
	12	○		児童発達支援ガイドラインに沿い、支援が必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容の設定に努めています。また日々の打ち合わせや会議で児童の成長度合い・新しい課題を共有し、支援内容の適性を確認しています。	今後もガイドラインに沿って項目の選択・支援内容が適切になるよう努め、話し合いでの情報共有を通して日々の活動内容の決定、必要な支援の把握に努めて参ります。
	13	○		個別支援会議等で計画内容の把握を行い、計画に沿った支援を行えるよう、個々の計画に沿った支援を全員で話し合っています。	今後とも、個々の計画の理解に努め、話し合いのもと計画に沿った支援を行って参ります。
	14	○		職員全体会議で、活動プログラムを話し合い、チームで立案しています。	今後もプログラム立案には職員全員で関わり、話し合っより良い支援ができるように努めて参ります。
	15	○		活動プログラムの固定化を避け、また偏りがないよう職員間で協議し、内容を組み合わせています。	今後ともプログラムが固定化しないよう配慮し、児童の状態に基づき、協議を通して日々の活動決定に努めて参ります。
	16	○		児童の発達に合わせて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しています。	今後も児童の状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ、支援計画を作成して参ります。
	17	○		毎朝必ず打ち合わせを行い、その日の利用児童の支援内容や職員の役割分担を確認しています。	打ち合わせをもとに、日々利用児童の状態把握に努め、活動内容の決定、支援にあたって参ります。
関係機関や保護者との連携	18	○		支援終了後には、療育の担当ごとに引き継ぎや定期的なケース検討会を開催し、情報共有を行っています。	今後とも、次の支援・活動に活かせるよう職員間で情報の共有、共通の理解に努め、支援にあたって参ります。
	19	○		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	支援内容だけでなく、余暇の時間の様子等も記録し、話し合いを通して支援の検証・改善に努めて参ります。
	20	○		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	今後とも、日々の療育での様子等を考慮しつつ、モニタリング等を行い、適宜計画の見直しを行って参ります。
	21	○		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	担当者会議の児発管の報告や議事録等を通して支援計画並びに日々の計画を立て支援に取り組んで参ります。
	22	○		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	今後も関係機関と密な連携を継続し、支援が行なっているように努めて参ります。
	23	○		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索して参ります。
	24	○		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索して参ります。
	25	○		移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	今後も利用児童の成長等、情報提供を行い、相互理解のもと連携に努めて参ります。
	26	○		移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	今後も利用児童の成長等、情報提供を行い、相互理解のもと連携に努めて参ります。
	27	○		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	今後も同様に、専門機関との連携を図り、助言や研修を受けて参ります。
保護者への説明責任等	28	○		ほとんどの児童が幼稚園や保育所などに通園しており、日常的な交流機会はあつております。現時点ではコロナ禍でもあり、事業所が企画する交流活動を持つ方に至っておりませんが、園の先生方に事業所を見学して頂いたり、園での児童の様子をお聞きしたりしています。	コロナ収束後、保護者様のご意向もうかがった上で、交流機会の検討を行って参ります。
	29	○		（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	コロナ収束後、研修が行われる際は、積極的に参加して参ります。
	30	○		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や課題について共通理解を持っている	あらゆる機会に、児童の様子をお伝えすると共に、ご家庭での様子や、課題なども伝え、共通理解のもと支援を行って参ります。
	31	○		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	今後とも保護者様のお悩みを傾聴し、子育てのご相談を受け、ご家庭でも取り組める効果的な関わり方などをご提案するなど、相互で連携した支援を心がけて参ります。
	32	○		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	今後も詳しく丁寧な説明に努めて参ります。
	33	○		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を分かりやすい内容の説明を心がけ、保護者様の同意を得ている	今後も保護者様との共通理解の元、計画を立案して参ります。
	34	○		連絡ノートや送迎時に頂くご相談や定期的な面談などは丁寧に関わり、必要な助言や支援に努めています。	今後とも保護者様のご相談を傾聴し、丁寧な対応を心掛け寄り添えるよう努めて参ります。
非常時等の対応	35	○		保護者様同士の交流機会を企画しておりますが、コロナの影響があり、今年度は参観日や交流機会を設ける事ができませんでした。	コロナ収束後、ご意見を頂きながら、保護者様等で保護者様同士が共に交流できるような機会を検討して参ります。
	36	○		子どもの利用に関するご相談については、迅速に対応できるように配慮しています。苦情への相談窓口も設けており、契約時にご説明を行っております。	今後も同様に、ご意見や申し入れなどには迅速かつ丁寧に対応して参ります。
	37	○		定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	今後も定期的な「おたより」や Web サイトでのブログでの活動報告などを継続して参ります。
	38	○		個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報は今後も細心の注意を払って取り扱いや保管を行って参ります。
	39	○		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っている	児童や保護者様にご理解頂けるよう分かりやすい説明や情報伝達を心掛けて参ります。
	40	○		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	今後コロナの事態が収束した際には、保護者様のご意向を確認して、同意を得た上で企画を検討して参ります。
	41	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	今後も職員には周知徹底し、保護者様も確認しやすいよう掲示場所への配慮も行って参ります。
42	○		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	今後も、児童の命を守ることを第一に考え、避難訓練を継続し、アンケートでご要望を踏まえ、実施内容の発信にも努めて参ります。	
43	○		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確かしている	今後も継続して、保護者様から児童の状況についてしっかり確認出来るよう努めて参ります。	
44	○		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	今後、強アレルギー等のある児童の受け入れが開始となる場合は、医師と連携し指示書に基づき正しい対応を熟知し、安全な支援を行って参ります。	
45	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	今後も以前の記録等振り返りを行い、新人職員等にも情報共有し、再発防止に努めて参ります。	
46	○		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	今後も事業所内での研修を続け、虐待防止について知識を深めて参ります。	
47	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	今後も原則として身体拘束は行わない基本姿勢を守り、やむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ書面により保護者様から同意を得て、また、個別支援計画にも記載して参ります。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。